

—スタッフ紹介—

| 役 職 | スタッフ名 |
|----------------------------------|-------|
| 副病院長兼診療支援局長 兼外科主任部長兼がん治療センター長 | 種村 匡弘 |
| 医療マネジメント課長兼医療相談室長 | 平松 昌典 |
| 看護局 外来 | 飛野 悦子 |
| 医療マネジメント課 相談支援室 | 下村 恭子 |

—概要—

当センターは、患者本人及びご家族の病気に対する疑問、悩み、更には治療方針に関する不安を一緒に解決していく相談窓口である。

がん相談支援センター

大阪府指定のがん診療拠点病院の「がん相談支援センター」の役割を担い、がん診療に関連する様々な不安、悩み、心配ごとの解決や支援を行っている。

相談支援室

がん以外の疾患に関する相談は「相談支援室」にて対応している。

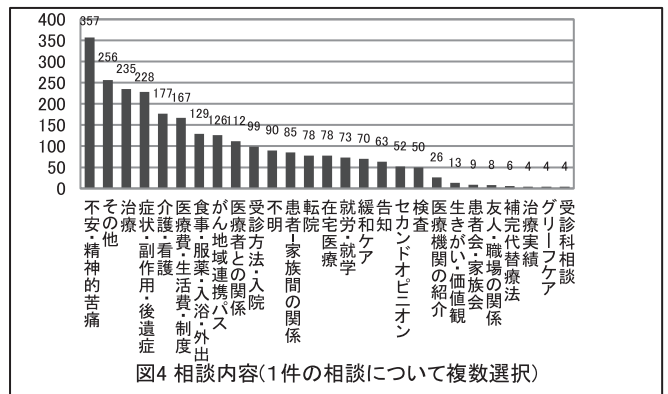
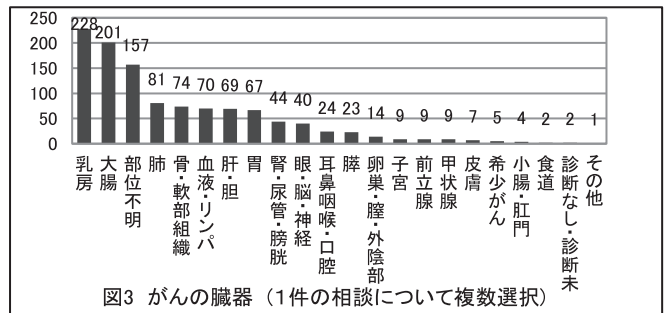
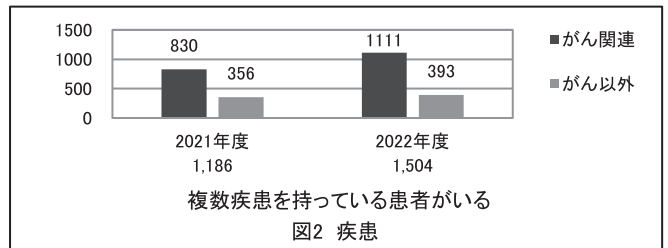
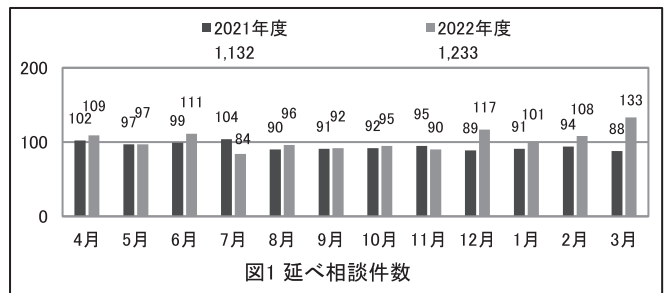
上記は、当院の患者及び家族だけでなく、他院診療中の患者や地域住民などでも利用できる。相談体制としては看護師、MSWが直接対面または電話で対応している。予約は不要であり、無料で利用できる。

2022年度の延べ相談件数は1,233件(図1)で、前年度より101件増加した。相談者の67%が当院患者で、33%が他院患者または地域住民であった。疾患別では、がん関連が74%、がん以外の疾患は26%(図2)であり、がん相談に対する相談が大部分を占めた。がんの臓器別では乳房、大腸、部位不明、肺、骨・軟部組織、血液・リンパの順に多かった(図3)。相談内容の内訳は、がんまたは疾患に対する不安、精神的苦痛を筆頭に2,599件(図4)あり、1回の相談の中で、複数件の相談内容を含んでいた。

相談員は患者、家族の不安や悩みを真摯に受け止めて問題整理をし、適切な情報提供、支援を心掛けている。治療方針で悩む場合は認定看護師によるインフォームドコンセントの同席や看護外来を実施している。更に、がんの身体的、精神的苦痛に対しては緩和ケアチームや精神科と連携して対応している。

大阪府及び泉州がん相談支援部会では、課題や対応方法について協議している。また国立がん研究センターの「認定がん専門相談員」研修に参加して最新の知識を得ている。

—実績—



- 「がん患者サロンin泉州」 オンライン開催 2022.10.29
- 研修・国立がん研究センター「認定がん専門相談員」
・令和4年度「両立支援コーディネーター基礎研修」

—今年度の支援状況と今後の新しい取り組み—

今年度は、昨年度と同様に新型コロナの影響で行動制限がある中で、患者支援について検討し、泉州二次医療圏のがん相談支援センターとの合同で「オンラインがん患者サロン」を開催できた。

次年度は2024年2月に対面でのがん患者サロン開催を予定している。また地域の公的イベントにて「出張がん相談」を行い、がん相談支援センターの啓発に取組む予定である。